

高校入試説明会開く

高校三年生の皆さんは
いよいよ大学受験のシ―



ジンです。御本人はもとより御家族の皆さんは心をも痛めていらっしゃる気がよく分ります。ところで私は連日、公立中学校の三年生の生徒と保護者の方々の高校進学説明会に出ています。会場には心配そうなお母さん方の顔も見られます。生徒数の減少も期に入り、高校入試も「入れる学校」へと変わってきています。栃木県でも県立高校の約三分の一の学校が定員割れを起こしている一方、特色ある教育を行っている私学の人

気が高まっています。本校も毎年一万二三千名を超える入学志願者があり優秀な生徒たちが入学して、「私学の時代」に入っています。

ところで、大学の入試の方は、しばらく続いた「国立離れ」の現象も回復してきたようです。これは経済不況の影響ばかりではなく、国立大学が私立大学に負けてはならじと入試方法の改善などを行って、人気回復をはかっているからでしょう。しかしながら国立、私立いずれにせよ、難関大学

の入試は昔から大変だったのですから、一生懸命勉強する以外に途はありません。何事も努力あるのみです。

今年は戦後五十年というこうでいろいろなことがいわれていますが、皆さんは、日本の国が平和で、毎日学校で勉強できることに感謝をしなけること、私と五十一年前、皆さんと同じ五十年前、皆さんは戦争の真最中、学校で勉強したくてもできない時代でした。私たちは、祖国を守るために、ペンを捨てて

銃を執った一隊のです。いわゆる学徒出陣です。私は東大の合格通知は幹部候補生として訓練を受けていた軍隊でもらいました。したがって、暗れの入式式に出席することはありませんでした。幸いにして戦争が終り、昭和二十一年四月に無事復学しましたが、私の同級生の何人かは、生きてはあたたきませんでした。同じ年に東大にもはじめて女子学生の入学が許されて、戦後の平和な日本、男女平等を実感したのです。

まず、須賀校長先生からカラフルなすばらしい平成八年度入学案内のパンフレットに基いて、一九〇〇年（明治三十三年）に創設された本校の教育方針や伝統に育まれた校風、また普通科、生活教養科、情報商業科、調理科、音楽科のそれぞれの特色や進路について説明が行われました。

今回大きく変わったことは音楽科にも新しく推薦入試



制がとり入れられ、
そして、志願者の負担を
軽くするため、入試科目か

説明する須賀校長先生と熱心に聞き入る各中学校の先生方

校長先生が鍬入れ式

教室十六室です。外装は吹きつけタイル張り、一部特殊タイルの全室冷暖房完備の予定です。



鍛入れを行う 校長先生

となっています。

室内は採光通風を考慮しまた大へん明るく計画されていて、とくに各階に広いスペースのトイレが二か所設けられます。



また一階の昇降口は二か所あり、混雑緩和がはかられています。



出席した生徒代表たち

中丸さんが宇都宮公演
県総合文化センターで



宇都宮公演を行った
中丸三千繪さん

高校への進学は、中学三年間の成果を踏まえて、自分の希望する本校の普通科三コースを始め、他の全科目いづれにも進めます。なお、高校入試は、推薦入試が十二月十二日音楽科（実集めて大へん盛況のうちに）

おみやげには、生活教養科の
皆さんが心を込めて作った
花の香をふくませたポプリ人
形とナッツ入りパウンドケー
キをさし上げ、大へん喜ばれて
たくさん先生のたからおの
礼状をいただきました。

しては初の優勝をかちと
た本校の誇る先輩です。
現在ミラノに住み、世界
的な活躍をつづけておりま
す。その多忙なか、宇都
宮はじめ県内各地のファシ
の皆さんの引きによって来



本校に三年間かよった、なつかしい地元の方がたの拍手に迎えられてステーションに立った中丸さんは、ブッチーニ・私の名はミミィ歌劇「ラ・ボエーム」より

日したものです。

宇都宮公演を行った
中丸三千繪さん

茶道部が夏稽古

デザイン展開く

「ざらい」を兼ねて夏稽古をいたしました。五月女牧仙先生ら三人の先生の手ほどきで二十名の部員は熱心にお手前のお稽古にはげま

恒例の生活教養科主催、「服飾デザイン展」が、こどもとも夏休みを利用して、宇都宮市の東京電力内アトリエ・ラ・フォンテで六日間わたって開かれ、大へん好評を拍しました。

展示内容は、三年生のウエディングドレスやデザイン画(二年生の更紗染め「テールセントラ」や「ハンカチ」などのほか、三年生の課題研究である更紗染め「ゆかた」や「タペストリー」など高度な技術がうかがわれ、訪れた人々もそのすばらしさに目を見張っていました。

デザイン展開く

会長に松岡氏（留任）

PTA役員決まる

平成七年度PTA総会は、平成六年度の事業報告、五月二十日須賀栄子記念講同決算報告並びに平成七年度大ホールで開かれました。度の事業計画案、同予算案

学校祭

HARMONY

未来は我らの手の中に
 このスローガンのもとに
 今年の学校祭は十一月四日
 (土)と五日(日)の二日
 間行われました。

お年寄りに贈物

新校舎の完成図
(右は西棟、左は三号館)



計監査 玉田

敬老の日の九月十五日
生徒会では恒例の贈物にお
箸のセツトをさしあげまし
た。対象は本校の先生生徒
のお宅に同居する七十歳以
上のお年寄りで、男子三百
八十四人、女子六百五十七
人、合計千四十一人でした。

ハウィックカレッジ 姉妹校と国際交流

本校とニュージーランドのハウィックカレッジが姉妹校の縁結びをしたのは一九九〇年（平成二年）でした。本校から須賀校長先生はじめ先生生徒二十三名が、ハウィックカレッジを訪れて提携のサインを行い、両校の親善交流がスタートしたのです。

あれからすでに五年がすぎ今年五月にはハウィックカレッジから、ジェニス・メイドメント先生を団長とする第三回訪問団二十七名（先生三名

生徒二十四名）が来校しました。

また本校では七月に、大谷武先生を団長とする第六回訪問団二十九名（先生二名、生徒二十七名）が訪問いたしました。

おたがいに、全校あげての歓迎の中で、それぞれ有意義な日程を過ぎて大きな成果を収めました。

これはその時の両校でのいろいろな行事のスナップです。



▲ハウィックカレッジからの来校団と、その一行を心からお迎えした本校の皆さん



▲ハウィックカレッジの皆さんを、まずお茶でおもてなし



△マリオ族の伝統的な踊りを教わる本校生



△持参した本校対面式の写真を紹介するディメリー校長先生



▲熱心にいけ花と取り組む男子生徒



▲ソロバンズカシ……と情報商業科で体験学習



△歓迎会でのハウィックカレッジのオーケストラ



▶文字どおり先生が手をとってお習字



▶これもマリオ族の踊りに使う小道具



△スポーツ交流でミーティングのひとつ

栄冠は我らに

球技
水泳大会優勝チーム

クラス

（バレーボール）Aグループ
男子 二年十九組、女子 一年十五組、Bグループ 男子三年七組、女子 三年十二組
（バスケットボール）Aグループ 男子 二年七組、女子 二年十六組、Bグループ 男子 一年二組、女子 三年四組
（ソフトテニス）Aグループ 二年十組（b）西村有貴、千田瞳、Bグループ 三年十三組
（卓球）佐藤睦子、浅井扶美子
（卓球）Aグループ 男子 二年十八組、女子 一年十四組、Bグループ 男子 一年九組、女子 三年八組
（水泳）Aグループ 男子 一年十九組、三浦康二、女子 二年四組 加藤史子、Bグループ 男子 三年二組、吉田信太郎、女子 一年二十二組 橋本歩果

編集後記

「若鮎」二十号をおとけいたします。どうぞ在校生の皆さんだけではなく、ご家庭の方々や近所の人々にもぜひ見てもらってください。私たちにとっては、一人でも多くの方々に見ていただければ、こんなうれしいことはありません。

今回は平成八年度の高校内試に、音楽科が初めて推薦入試を取り入れたことや、中学に総合コースを設けるなど、大きく変わりましたので、それらを中心に編集しました。また現在、新築中の校舎の概要をお伝えします。

あとになりましたが、顧問の先生方、各クラスの編集委員の皆さん、ご協力ありがとうございました。

（編集委員長 高橋恵子）